

|          |                      |    |   |   |   |
|----------|----------------------|----|---|---|---|
| 国語<br>二一 | 第三学年及び第四学年の内容<br>慣用句 | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|----------|----------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日 月 日

次の  に当てはまる言葉をあとの  から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 母はお祝いいはの日の料理りょうりでは、いつも以上いじょうに、 をふるう。

② 野球場やきゅうじょうにいる観客かんきやくは、彼の見事みごとな技わざに  をまいた。

③ バスケットボール大会たいかいの本番ほんばんを前まえにして、 が騒さわぐ。

④ 何度なんども  をはこんで、ようやく撮影さつえいすることができた。

|                    |                     |    |                     |
|--------------------|---------------------|----|---------------------|
| 血 <small>ち</small> | 足 <small>あし</small> | うで | 舌 <small>した</small> |
|--------------------|---------------------|----|---------------------|

A 自分じぶんの前まえ・技能ぎのうを存分ぞんぶんに人ひとに見せる。

B あることのために、わざわざ出向でむく。

C 気持ちきもちが高たかぶって、じっとしていらなくなる。

D あまりにもすぐれていて、ひどくおどろく。

|           |                      |    |   |   |   |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|
| 国語<br>二二二 | 第三学年及び第四学年の内容<br>慣用句 | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日  
月 日

次の  に当てはまる言葉をあとの  から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 学校の帰り道に、いつも  を食っている。

②  を売ってばかりで、なかなか家に帰ってこない。

③ 正しい答えを出そうと、 をひねる。

④ わたしの家の庭は、 のひたいほどの広さしかない。

|   |     |    |
|---|-----|----|
| 油 | ねこ頭 | 道草 |
|---|-----|----|

A きわめてせまいことのたとえ。

B むずかしいことを、熱心に考えること。

C 人目をぬすんで、なまける。

D とちゅうで、他のことに時間をついやす。

|           |                      |    |   |   |   |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|
| 国語<br>二二三 | 第三学年及び第四学年の内容<br>慣用句 | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日  
月 日

次の  に当てはまる言葉をあとの  から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 社長の  の一声で、計画が決まった。

② そのふたごは、まるで  二つだ。

③  をつかむような話で、とても信じられない。

④ 彼とは、みように  が合う。

|    |    |   |   |
|----|----|---|---|
| うり | つる | 馬 | 雲 |
|----|----|---|---|

A 顔かたちが、よくにている。

B 立場が上の人の一言でものごとが決まる。

C 相手とおたがいに、気心が合う。

D まったくつかみどころがない。

|           |                      |    |   |   |   |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|
| 国語<br>二一四 | 第三学年及び第四学年の内容<br>慣用句 | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日  
月 日

次の  に当てはまる言葉をあとの  から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 二つのチームが、 を散らして、優勝をあらそう。

② 転校していく友達のために  をこめて歌う。

③ 努力は必ず  を結ぶと信じている。

④ 兄の  をわったようなせいかがうらやましい。

|   |    |   |   |
|---|----|---|---|
| 実 | 火花 | 竹 | 心 |
|---|----|---|---|

A たがいにはげしく、勝負をあらそう。

B 努力の結果が表れ、成功する。

C 思いやりの気持ちで、心の中をいっばいにする。

D せいかが、さっぱりしている。

次の  に当てはまる言葉をあとの  から選**え**び、書**か**きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選**え**び、 に書**か**きましよう。

① 会**かい**場が、急**き**に  を打**う**ったようになる。

② 悪**わる**者は、 を散**ち**らすようににげさった。

③ 物**もの**かげから  を殺**ころ**して、様**よう**子をうかがう。

④  がはずみ、時**じ**間**かん**がたつのをわすれていた。

|                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 息 <small>いき</small> | 話 <small>はなし</small> |
| くもの子                |                      |
| 水 <small>みず</small> |                      |

A 大**だい**ぜいのものが、散**ち**り散**ち**りになつてにげていくこと。

B こきゆうの音**おと**もさせないで、じつとして**おと**いること。

C 楽**たの**しかったりききょう味**み**深**ぶか**かったりして、会**かい**話**わ**が活**かつ**発**ぱつ**に続**つづ**くこと。

D その場**ば**にいる大勢**おおぜい**の人**ひと**々が静**しず**まりかえるさま。

次の  に当てはまる言葉をあとの  から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

①  を正して校長先生のお話を聞く。

② いつも  にはまった考え方だけでは、面白くない。

③  を焼きすぎると、その人のためにならない。

④ 最後の試合に負け、ぼくたちは  を飲んだ。

世話 えり 型 なみだ

A まじめな気持ちで、物事に対しよする。

B くやしさを、じつところらせる。

C 進んで他人のめんどろを見る。

D 決まりきった形式で、こせいがない。

|           |                      |    |   |   |   |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|
| 国語<br>二一七 | 第三学年及び第四学年の内容<br>慣用句 | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日  
月 日

次の  に当てはまる言葉をあとの  から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① この本は、読むのにとても  がおれた。

② 姉にはいつも助けてもらっているので、 が上がらない。

③ 悲しいニュースを聞いて、 がいたむ。

④ 夏休みに、久しぶりに親子  入らずの旅行をした。

|   |    |   |    |
|---|----|---|----|
| 水 | むね | 頭 | ほね |
|---|----|---|----|

A 労力がある。こんなんである。

B 心配事などで、苦しい思いや悲しい思いをする。

C 親しい者だけで集まっていること。

D 引け目を感じて、対等な関係に立てない。

|           |                      |    |   |   |   |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|
| 国語<br>二一八 | 第三学年及び第四学年の内容<br>慣用句 | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日  
月 日

次の  に当てはまる言葉をあとの  から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 毎年年末は、 の手もかりたいくらいいいそがしい。

② あ的那个人は、 をよんで年をごまかしている。

③  によって、一気に勝ち進んだ。

④ 上司に好かれるために、 をする。

|    |    |    |   |
|----|----|----|---|
| さば | ねこ | ごま | 波 |
|----|----|----|---|

A 実さいより多く言ったり、少なく言ったりして数をごまかす。

B だれでもいいから、手伝いがほしいこと。

C 調子によって、その時の流れにうまくのること。

D 人の機げんをとること。



|           |                      |    |   |   |   |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|
| 国語<br>二一九 | 第三学年及び第四学年の内容<br>慣用句 | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日  
月 日

次の [ ] に当てはまる言葉をあとの [ ] から選び、書きましよう。また、 [ ] の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 [ ] に書きましよう。

① 校庭を五周走ることくらい、 [ ] 前だ。

② 選ばつりレーは、 [ ] にあせにぎる熱戦だった。

③ オリンピックへの出場が決まり、 [ ] が鳴る。

④ [ ] を打つばかりで、自分からは話さない。

|      |    |   |    |
|------|----|---|----|
| あいづち | 朝飯 | 手 | うで |
|------|----|---|----|

A うで前を発きしたくて、うずうずする。

B 相手の話に調子を合わせて、受け答えをする。

C きわめてかんたんなこと。

D 見たり聞いたりしながら、こうふんしたりきんちようしたりする。

|           |                      |    |   |   |   |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|
| 国語<br>二一十 | 第三学年及び第四学年の内容<br>慣用句 | 名前 | 年 | 組 | 番 |
|-----------|----------------------|----|---|---|---|

取り組んだ日  
月 日

次の  に当てはまる言葉をあとの  から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 弟はがんばりすぎるので、時々  をかける必要がある。

② 時代の流れにさからえず、ついに  を下ろした。

③ 今度の休みには、温せんに行つて  休めをする予定だ。

④ お年玉のことを考えると、 がおどる。

ブレーキ のれん むね ほね

A 期待やこうふんで、心がわくわくすること。

B その日のえいぎようを終える。また、商売をやめる。

C 体を休めて、つかれをいやすこと。

D 物事の進行を、止めたりおさえたりする。